

平成 26 年（2014 年） 9 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 3 日 目 ）

平成 26 年 9 月 17 日（水）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	平 良 仁 一 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	道路行政について	(1) 交通渋滞対策について ① 市道鏡原小禄線及び鏡原20号道路の交通渋滞を抜本的に緩和するためには、現在の2車線に、左折用車線を公園側に1車線増設し、左折用矢印信号機を設置することが確実に渋滞緩和につながると思うが、当局の見解を伺う ② 仮に公園側に一車線増設するとなれば、どのような課題があるのか伺う ③ もし課題があるとすれば、当局はどのような対処をするのか伺う ④ 上記以外に当局として有効な交通渋滞緩和策があったら教えてもらいたい (2) 小禄赤嶺線整備事業について ① 小禄赤嶺線整備事業の現在までの進捗状況を伺う ② 用地取得できてない件数は何件あるのか、そしてその見通しはどうなっているのか伺う ③ 地域住民はこの整備事業の早期完了を望んでいる。当初事業計画より3年間延長しているが、予定通り完了するのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成26年9月17日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 那覇市総合 計画について	(1) 第4次那覇市総合計画は2008年に策定され、2017年度までの計画となっている。現在の計画の進捗状況と評価を問う (2) 医療・福祉分野の産業における位置づけについて ① 本市の医療機関、調剤薬局、介護保険事業所、介護付き高齢者住宅、障がい者支援施設、学童保育、保育園など福祉関連の施設数、従業員数の全体に占める比率を問う ② 上記のそれぞれの分野で働く労働者の賃金合計、全体に占める賃金比率はいくらか ③ 医療・福祉分野の産業が、市民の生活や経済活動にどのような効果をもたらしているか
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 道路行政について	(1) 那覇市民体育館前で、那覇市道識名東線と農道上間3号線が交わる地点は、ゲリラ豪雨のような大雨時には、大量の葉っぱごみが集中し、雨水が路面上を農道上間3号線側に流れ、付近の道路を汚しているとの苦情がある。改善が必要ではないか (2) 那覇市道識名19号が、国道に突き当たる部分は、幅員が狭く、上間県営団地から真地小学校に通学する児童や住民の通行の安全に支障が出ている。用地買収や電柱の移動も含めた、幅員の拡大が必要と思うが、見解を問う

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 自治会支援 について	(1) 防犯灯の設置、電気料の補助を開始してからの実績と効果を問う (2) 電柱に自治会が設置している放送用電線に対して、沖縄電力は使用料を請求しているが、払っている自治会はあるか。市内の状況を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 福祉行政について	本市の介護相談員派遣事業について (1) 概要を伺う (2) 本事業の費用対効果と「平成 25 年度の活動報告書」を受けての評価を伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 健康行政について	(1) 骨髄移植のドナー助成制度について ① 移植希望者数とドナー（提供者）登録数について、全国と沖縄県内の状況について伺う ② 本市における同制度への取り組みについて伺う (2) 献血推進事業について ① 本市の献血者数の推移と状況について伺う ② 本市の献血推進協議会の役割について伺う
		3 観光行政について	大型観光バスの本市における待機場の確保について (1) これまでの取り組みについて伺う (2) 今後の見通しについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	喜舎場 盛三 (公 明 党)	1 保育行政について	(1) 本市の認可外保育所に対する公的支援及び助成の現状を伺う (2) 子ども・子育て支援新制度では認可外保育所については全く触れられていない。認可外保育所の関係者は、新制度施行後、自分達は成り立っていかないのではないかと心配している。当局は認可外保育所に対し、新制度についてどのように説明し、どのように指導監督基準に基づいて指導しているのか伺う
		2 胃がん予防について	(1) 胃がんは全国で年間 11 万人以上が罹患し、5 万人以上が死亡している。全国ではがんに罹患するのが 1 番多い部位は胃であるが、本市においてがんの罹患で 1 番多いのはどの部位か (2) 2012 年「がん対策推進基本計画」に胃がんとピロリ菌に関する除菌を慢性胃炎の段階まで行うことについて薬事承認が認められると同時に、ピロリ菌の除菌の保険適用が認められたことから、がん検診に「胃がんハイリスク検診（ＡＢＣ検診）」を導入する自治体が増えているが見解を伺う
		3 学校教育について	(1) 小中学校において学芸会・運動会などの学校行事の教育的効果について伺う (2) 学習指導要領改訂以降、学習内容が増加し授業日数が増える中で、本市の学校で学校行事を減らしたり、減らすための工夫をしている事例があるのか。また、学力向上対策のため学校行事に影響を及ぼした事例があるのか伺う
		4 若者支援について	本市におけるニートや引きこもりの若者に対する支援を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
総括質問方式
(演壇・質問席)

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	下 地 敏 男 (社 民 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 NAHAマ ラソンにつ いて 2 図書館行政 について 3 保健行政に ついて 4 庁舎内環境 整備について	NAHAマラソンについて以下伺う (1) 今大会の定員に対しての応募数 (2) 競技運営体制について 市立図書館の運営について各図書館の特色は どのようなになっているか伺う 市民や観光客を新型インフルエンザ等から予 防する対策はどのようなになっているか伺う 市民が来庁した際に、待ち時間を快適にすること は行政サービスの一つである、また職員が精神的 に落ち着いて業務を遂行する環境も重要である。 そのためBGMは有効だと考える。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 防災行政について	(1) 国土交通省は今回の広島市での土砂災害を受け、「警戒区域」未指定の地域も含め「土砂災害危険箇所」の住民に危険性を周知するよう、自治体に緊急要請した。当局の見解を問う (2) 那覇市災害時要援護者避難支援計画について、計画の目的とは、どのような市民が対象となるのか。対象者はそれぞれ何人か (3) 災害時の避難の注意喚起の在り方について。台風や大雨の時には、要配慮者に考慮して、ゆとりある、避難の注意喚起を行うべきではないか
		2 土木行政について	那覇市内の橋梁の安全確保について、当局の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	比 嘉 瑞 己 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 教育行政について 2 自治会支援について 3 市長の政治姿勢について	(1) 那覇市内の小中学校における不登校、いじめの件数、補導件数、何らかの理由で教室に入れない児童生徒数の実態と推移について問う (2) 教育分野に関する知識と、社会福祉等の専門的な知識によって、児童生徒への支援を行う「スクールソーシャルワーカー」の体制を強化すべきである。見解を問う (1) 協働のまちづくりにおいて、地域自治会の果たす役割は大きい。しかしながら、加入率や自治会運営、後継者対策など課題は多い。那覇市として支援を強化すべきである。見解を問う (2) 地上戦によって焼け野原となった那覇市は、米軍占領統治下の強制土地接收による影響もあって、自治会組織の再建が遅れた。そのため、現在も活動拠点となる自治会公民館や事務所にまつわる課題を抱えている。一括交付金の活用も含めた対策が必要である。見解を問う 戦後 69 年、これまで沖縄県民が歩んできた歴史は日米両政府からの弾圧の歴史であると同時に、県民が力を合わせて不屈に抵抗してきた歴史でもある。いま日米両政府の辺野古新基地建設強行に反対する「建白書」を実現させるために、新たな「島ぐるみのたたかい」が始まっている 沖縄県民が歩んできた歴史を踏まえて、翁長市長の「島ぐるみのたたかい」を発展させていく決意について。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 26 年 9 月 17 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	花 城 正 樹 (なは民主) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 道路(公園)行政について 2 市木、市花木、市チョウの活用について 3 奨学金制度について 4 公用車デザインについて	国場川くねくね公園は生活道をまたいで2つに分かれており、こども達が事故にあってもおかしくない状況にある。以下、対策ができないか見解を伺う (1) ドライバーに対する注意喚起の看板設置 (2) 道路に減速効果のある凹凸をつけることはできないか 香川県の県木にはオリーブが指定されており、民間と連携し様々な商品開発がなされている。本市でもコーディネートできないか伺う 教育の機会均等を実現する上で、奨学金の果たす役割は大きい。以下、伺う (1) 本市奨学金制度における償還状況と関係団体からの寄附の状況 (2) 有利子枠と無利子枠の現状について ゴミ収集車やバス、その他の公用車について、企業やイベント広告、ラッピングしてデザインを施せば観光の素材になると考える。見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長